

別紙（資料）

表1【小・中学校不登校児童生徒発生率(R4)】

<小学校>		不登校児童数	発生率(発生日数/児童数)×100		
年度	柏崎市(小)		新潟県(小)	全国(小)	
28	22	0.54	0.42	0.48	
29	20	0.51	0.51	0.54	
30	16	0.41	0.64	0.70	
1	25	0.68	0.72	0.83	
2	18	0.51	0.93	1.00	
3	24	0.67	1.15	1.33	
4	44	1.27	1.59	1.71	
5	28(11月末)				

<中学校>		不登校生徒数	発生率(発生日数/生徒数)×100		
年度	柏崎市(中)		新潟県(中)	全国(中)	
28	71	3.49	2.83	3.01	
29	48	2.40	3.04	3.25	
30	43	2.29	3.38	3.65	
1	53	3.04	3.55	3.94	
2	67	3.82	3.99	4.12	
3	79	4.50	5.02	5.52	
4	89	5.16	5.95	6.05	
5	66(11月末)				

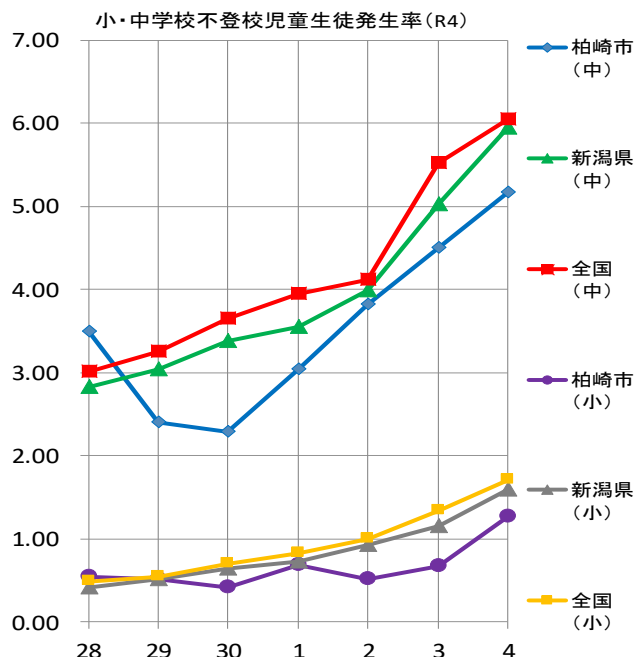


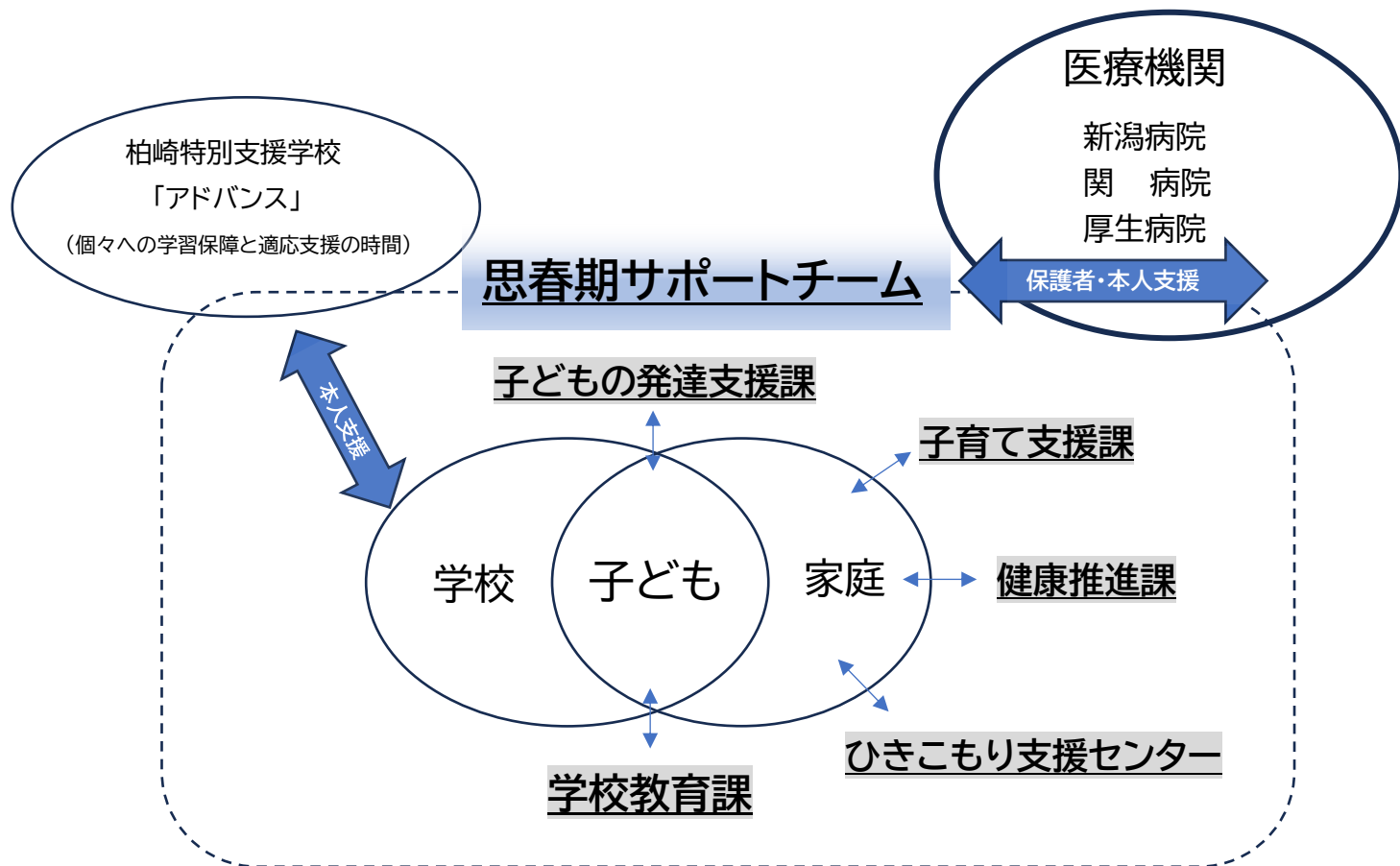
表2【小・中学校不登校児童生徒の内訳(R4)】

	小学校	中学校
1年	1	21
2年	2	31
3年	5	37
4年	7	
5年	11	
6年	18	
計	44	89

表3【小・中学校不登校児童生徒の要因(R4)】

分類\区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
	いじめ	関係性をめぐる課題	教職員との関係	学業不振	進路に係る不安	クラブ等の活動不適応	学校の問題	入学時、転校、編入、不登校	急激な生活環境の変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズム、非行	無気力、不安		
小学校	①主たるもの	0	4	0	1	0	0	0	0	10	0	11	17	1	
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	0	5	0	8	0	0	0	1	1	3	1	3	4	
中学校	①主たるもの	1	17	0	5	0	0	0	6	0	4	0	14	40	2
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	1	6	0	6	0	2	1	3	2	9	0	10	12	

図1 不登校の改善に向けた主な連携体制



※ 思春期サポートチームとは、「思春期サポート会議」を構成しているメンバーである。学校教育課や健康推進課（地域保健係）、ひきこもり支援センター、子育て支援課（家庭支援係）、子どもの発達支援課（相談支援係）が会議に参加している。専門性を生かしながら、各ケースに応じた課題解決の対応を組織的に行っている。